

会員報告

バリアフリー 2016

土田 浩敬

1、はじめに

こんにちは。先日「バリアフリー2016」へ行ってきました。場所はインテックス大阪内にある広大な会場にて行われ、様々な企業や団体がブースを出しています。私は初日の21日に行ってきたことを皆さまに報告いたします。

2、バリアフリー2016

開催期間は4月21日(木)から23日(土)の3日間です。来場者は、1日目29,059人、2日目31,478人、3日目33,061人の合計93,598人。初日はあいにくの雨降りでしたが、比較的多くの方が来られていた印象でした。

3、初日、雨が降る中のバリアフリー2016

21日、私は雨の中、カッパを着て「バリアフリー2016」の会場である、インテックス大阪へ向かいます。駅までの道中、車椅子に固定出来るような傘立てがあればいいのに、と介助者と話しながら向かいます。それにしても、雨降りのなかの移動は大変です。電車を乗り継いで12時頃に会場に到着しました。例年でしたら、最寄り駅の、中ふ頭駅内のエレベーターが車椅子利用者で混雑し、渋滞になるのですが、今日は待たずにエレベーターに乗ることが出来ました。会場まで、それほど人の多さが目立ちませんでしたが、インテックス大阪に着くと、大勢の来場者です。昼食を済ませて、少し休憩してから会場内を見てまわります。毎年たくさんのブースがあり、どこから見て行こうか迷います。介助スロープにしても、色々な企業が出展されています。また車椅子も国内の有名メーカーから、新しく注目されているメーカー、国外メーカーなど様々です。電動車椅子も機能性に加え、見た目の美しさや格好良さも、近年では充実して来たのではと感じました。会場内を見てまわっていると、車椅子を利用する障がい者もチラホラ見受けられ、頸損連の方達も数名来られていました。休憩場所もいくつか設けられ、何度か小休憩を取りながら観覧して行きました。近頃、

テレビなどでも取り上げられている、介護ロボットもありました。介護ロボットにも実際に介助に関わるものから、会話の出来る、コミュニケーションロボットもあります。これらは認知症予防や、セラピー効果が期待されるようで、この先も多様化していくデジタルテクノロジーが、ますます発展していくのではないかと感じました。

4、おわりに

様々な福祉用具があるなかで、近未来を想像させるような車椅子や、デジタル技術を駆使したロボット等、真新しい福祉用具、福祉機器が見受けられました。ただ、障がい者の意見を、もっと取り入れて欲しいと思う時があります。持ち運びが便利でどこでも持って行くことが出来るスロープや、車椅子に容易に取り付け可能な傘立て、シャワーキャリアでそのまま入浴出来るバスタブ等。こんな福祉用具があればいいな...といった声をもっと届けたい、そして知って頂きたい。誰もが使いやすいユニバーサルデザインが、よりスタンダードになればと願い、今回の報告を終えたいと思います。



兵庫頸損の「くんと出会いました